

2024 年度 事業活動計画案

1. 乗馬トレーニング事業活動

(1) セラピー倶楽部の活動について

① 倶楽部会員数について

2024 年度の倶楽部会員数は、通常会員数で 5 名増の 26 名を掲げて活動する。

又、チケット会員も 2 名増の 16 名を目標とする。

会員区分	2023 年度計画	2023 年度末	2024 年度計画	備 考
障がい者会員	20	17	20	高齢者を含む
子供会員	2	0	2	
一般会員	3	4	4	2024 年度 1 名退会
小計(通常会員)	25	21	26	
チケット会員	16	14	16	冬期休み 6 名含む
合計	41	35	42	

② トレーニング指導体制について

新年度の指導体制は、福島貴史インストラクターが、堤・菅沼ボランティアインストラクターの支援を受ける体制で継続。

③ 2023 年 11 月から始動のインストラクター補助者の養成を、引き続き堤インストラクターが 6 月以降を目的にレッスン枠を任せられる様に指導、養成に努める。

④ 昨年からの実施の週 3 日営業に加え福島インストラクター出勤日の火・金曜日の会員・ビジター受け入れを継続。

⑤ 新年度ボランティア登録は 22 名でスタートとなり、1 日平均 8~10 名の持続的な参加が望ましい事から、辞退の人数も視野に入れて、新規 10 名以上の登録を目指したい。

(2) 施設管理業務について

① 現状の馬場・厩舎・関連施設及び保有馬は、施設・動物管理責任者(福島インストラクター)の下で日常的に適正な維持管理に努める。

② 平日の施設及び馬管理業務のパート雇用者は、幸田と新たに採用の齋藤・村岡の 3 名体制で始動、センターが新たに取組む業務への参加も要請する。但し 2 月に幸田の自己都合による 4 月末退職の申出を受け、新たに 4/15 から北村俊一(64 歳)を 3 ヶ月の試用期間で採用。しかし依然として職員一人勤務日が有る為、ハローワークに補充人員を募集中である。

③ 昨年、馬テリーが死亡、新たに馬ゴロウを搬入、新年度も保有馬の総数は 7 頭になる。しかし今後高齢馬が控えている事を考え、道産子馬(100 万円)を 3 月 27 日から 8 月を目安に預かり、そらぶち合意の下派遣に同行させる事とし、運用の目処が立てばキララに代わる予備馬として購入を決定。その場合乗用馬としての利用が多少困難な、そらぶち派遣馬ミントの放出(下取価格 40 万円)をそらぶち側の意向を併せて検討していく事とする。

④ 昨年の大雨で浸水被害があった、馬房の麦稈・牧草保管場所の整備を行う。

⑤ 隣接施設(光の森学園)への土埃飛散の予防の為、散水機(30 万円)購入を年度始めに検討。

(3) 飼養管理について

① 酪農学園大学生の教育実習の場として、当センターの飼養馬を活用する件は、引き続き継続することとする。

② 飼養馬の日常的健康管理及び定期的健診、ワクチン接種等を同大学に依頼する。

しかし、これ迄ワクチン等の薬剤の無料提供は、今年度より実費請求される事になる。

2. 啓発普及事業活動状況

- (1) セラピー会員の募集は、パンフやチラシの配布と口コミ等により行う。
- (2) 情報誌「お便り」は、年3回以上を目標に発行する。
- (3) Tシャツ・パーカー・手作り提供品等の販売を継続実行する。
- (4) 昨年からはじめた、好評のインスタグラムの配信を今後も継続し啓発に努める。
- (5) 「イオン黄色いレシートキャンペーン」の申込み申請を継続し、店頭活動に参加する。今後はインスタグラムを活用し、お手伝いして下さるボランティア要請と活動の理解を広めたい。
- (6) ドックラン札幌ペットクラブ(北広島市仁別 414)に 2024 年 2 月から我孫子倫子理事の働き掛けで募金箱を設置して頂いている。

3. 地域交流事業活動

(1) そらぶちキッズキャンプの受託事業

業務は、日帰りデイキャンプが7回実施。馬車運用トレーニング1回及び乗馬トレーニング6回構成に対して馬2頭を運搬貸与し、これに伴う指導員派遣は、次のようになる。

- ① デイキャンプ1回目には、馬車運用業務担当指導員1名を派遣する。
- ② デイキャンプ2～7回目には、障がい者乗馬トレと馬車運用業務担当指導員の構成で2名を派遣する。

(2) 岩見沢関連の受託事業

岩見沢関連事業は、後藤の逝去により見通しが立たない為、視覚障害者協会分の盤溪での団体受け入れのみを実施予定としているが、昨年度は未実施だった為、予算計上には見込まなかった。新年度の事業計画については、今後(株)悠愛への働きかけに努めたい。

4. 協力支援事業

この事業は、昨年度の要請が無かった為、全く見通しが立たないので見込んでいない。

5. 外部乗用馬利用について

引き続き、帯広畜産大学の「障がい者乗用馬」利用の可能性への働きかけに務めたい。

又、関係を繋げていく為に本年度も「乗馬体験会」の見学をお願いし、その際は障がい者乗馬の理解を深めてもらう為にインストラクターアシスタントを同行させたい。

6. 一般管理業務

(1) 借入金は本年度も不測の事態に備え繰り上げ返済はせず毎月返済を継続する。

借入金利息の本年度の支払額は、76,375円である。(2025年度以降残166,126円)

借入金の本年度の返済額は、975,000円である。(2025年度以降残5年4,650,000円)

(2) 旅費交通費については、後藤良忠前事務局長に代わり実務を引き継いで来た、大塚三知世事務局長に、外務で自家用車の使用や仕事量を考慮し、本年度から毎月1回ガソリン給油分を支給する事とする。(予算額は例年、後藤氏へ支給していた相当額4,000円/月を計上)

7. 事務局運営体制について

(1) 事務局体制は、今木康彦理事長が打診し引継ぎの次期を伺っていた事務局長候補者が、ご本人の都合で引き受けて頂けなくなり断念。よって本年度も昨年に引き続き、福島貴史事務局長が統括し、大塚三知世事務局長の実務協力で運営を維持していく。

(2) 事務局長は、事務局運営について理事長承認を得て関係者に周知させ、円滑な事務局運営に努める。

2023年度 貸借対照表

(2024年3月31日現在)

単位：円

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
1. 流動資産	11,180,138	1. 流動負債	155,723
(1) 現 金	45,773	(1) 未払い金	0
(2) 北海道銀行預金	6,941,978	(2) 前受金	101,000
(3) 三井住友銀行(4/21解約)	0	(3) 預り金	54,723
(4) ゆうちょ銀行	4,132,387		
(5) 仮払金(前払金)	60,000	2. 固定負債	5,625,000
		(1) 長期借入金	5,625,000
2. 固定資産	3,748,199		
厩舎及び事務所	1	負 債 の 合 計	5,780,723
乗用馬5頭	3,343,750		
乗用馬2頭	2	正 味 財 産 の 部	
小型ダンプトラック	404,446	正味財産	9,147,614
		(2022年度正味財産額)	5,788,294
		(2023年度財産増加額)	3,359,320
		正味財産合計	9,147,614
資 産 の 合 計	14,928,337	負 債 ・ 正 味 財 産 合 計	14,928,337

科 目	23年度決算額	24年度予算額	増 減	備 考
1. 会 費	490,000	478,000	-12,000	
①個人正会員	105,000	98,000	-7,000	14名
②団体正会員	60,000	60,000	0	2名
③個人賛助会員	255,000	250,000	-5,000	50口
④団体賛助会員	70,000	70,000	0	7口
2. 乗馬トレーニング業務	5,868,200	5,844,800	-23,400	
① H区分会員	3,612,000	3,800,000	188,000	22名(内2名児童会員3ヶ月間)
② N区分会員	739,200	844,800	105,600	4名
③ チケット会費	751,200	760,000	8,800	16名(内6名冬期休み)
④ 入会金	255,000	140,000	-115,000	4名
⑤ 体験ビジター等	510,800	300,000	-210,800	
3. 啓発普及業務	439,275	300,000	-139,275	
4. 地域交流業務	2,469,624	2,808,750	339,126	そらぶち業務全7回
5. 寄付金	4,564,268	500,000	-4,064,268	
6. 助成業務	0	0	0	
7. 協力支援事業	0	0	0	
8. その他	28,434	25,300	-3,134	
①雑収入	28,160	25,000	-3,160	
②受取利息	274	300	26	
収 入 計	13,859,801	9,956,850	-3,902,951	
〔2〕 支 出				
科 目	23年度決算額	24年度予算額	増 減	備 考
(1) 事業費				
1. 乗馬トレーニング業務	7,308,587	11,004,200	3,695,613	
① 人件費	5,036,952	5,123,000	86,048	正職員1名・パート3名
② 旅費交通費	205,100	211,200	6,100	〃
③ 施設管理費	545,812	3,800,000	3,254,188	車検・馬房整備・新馬・除雪機
④ 飼養管理費	1,464,313	1,800,000	335,687	
⑤ 倶楽部諸費	56,410	70,000	13,590	ボランティア保険・研修交通費
2. 啓発普及費	286,791	200,000	-86,791	
3. 地域交流業務	935,814	1,432,584	496,770	
4. 助成業務	0	0	0	
事業費計	8,531,192	12,636,784	4,105,592	
(2) 一般管理費				
1. 人件費	0	0	0	
2. 福利厚生費	23,447	27,000	3,553	
3. 会 議 費	1,900	2,000	100	
4. 旅費交通費	6,655	48,000	41,345	
5. 通信運搬費	327,545	330,000	2,455	
6. 水道光熱費	230,707	225,000	-5,707	
7. 雑 費	84,493	87,000	2,507	
8. 消耗品費	27,256	26,000	-1,256	
9. 負担金及び損料	333,030	350,000	16,970	
10. 租税公課	11,900	14,000	2,100	
11. 借入金利息	42,908	76,375	33,467	
12. 未収金損失	0	0	0	
13. 減価償却費	879,448	979,446	99,998	
一般管理費計	1,969,289	2,164,821	195,532	
支 出 計	10,500,481	14,801,605	4,205,590	
經常収支差額(単年度収支)	3,359,320	-4,844,755	-8,204,075	赤字分は前期繰越資産を取崩し充当
前期財産繰越額	5,788,294	9,147,614	3,359,320	
次期財産繰越額	9,147,614	4,302,859	-4,844,755	
借入金残高	5,625,000	4,650,000	-975,000	増減は単年度支払額